

大切な人のために...



子宮頸がん検診の対象年齢や申し込み・検診方法等は市町村で異なります。詳しくは、お住まいの市町村窓口へお問い合わせください。がん検診を受ける際は、よく説明を聞いてください。

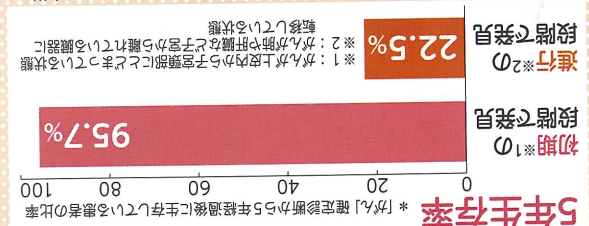
095-505-2222
TEL 島根県 がん対策推進課

島根県

20歳を過ぎたら 子宮頸がん検診を 受けましょう

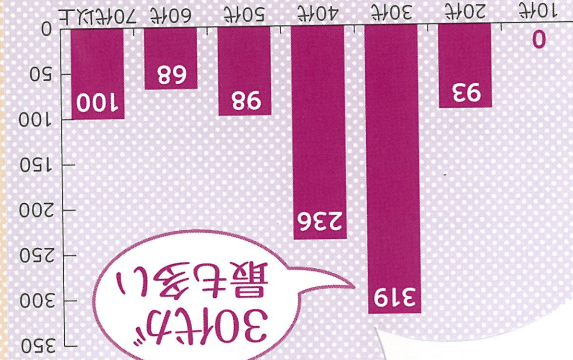


多くのがんは、2年に1度の検診で早期発見できます。ただし、中には急激に大きくなるものもあるため、もし異常を感じたら病院へ行きましょう。
国立がん研究センター「がん対策情報センター」2009-2011年



90%以上
早く見つけて
子宮頸がんが
治る確率

※出典：島根県がん登録2014-2018年（※CIN3を含む）



30代が
最も多い
子宮頸がんと
診断された人

1



子宮頸がんの原因と2つの予防法

子宮頸がんは、HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染が原因と考えられています。HPVは、一度でも性的接触の経験があれば、誰でも感染する可能性があります。

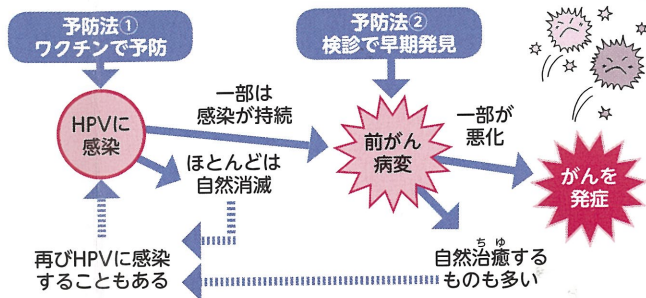
① ワクチンで予防

小学校6年～高校1年相当の女の子は、ワクチン接種が公費で受けられます。ワクチンの詳しい情報は、

厚生労働省 子宮頸がん 検索

② 検診で早期発見

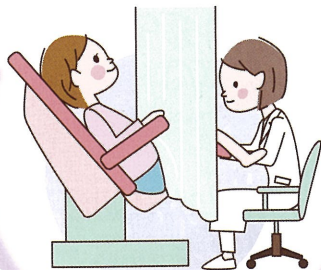
HPVワクチンを接種した方も、20歳になったら子宮頸がん検診を受けることが大切です。



2 子宮頸がん検診はどんなことをするの？



細胞診という検査で、子宮頸部の表面からとった細胞を顕微鏡で調べます。検診は5分くらいで終わり、ほとんど痛みもありません。



3 Q&A



Q: 症状がなくても検診は必要ですか？

A: 子宮頸がんの初期には、ほとんど自覚症状がありません。自分で気づいた時には進行していることも多いので、20歳を過ぎたら、2年に1回、定期的に検診を受けましょう。

Q: 検診を避けたほうがよい時期がありますか？

A: 月経中でも受診可能ではありますが、なるべくなら避けたほうがよいでしょう。